

2. 歴史学的諸問題

参考文献:

Einleitung in das Neue Testament, Introduction to the New Testament,
新約聖書緒論(概論), 注解書の序論

総説新約聖書 / 荒井献ほか著. -- 日本基督教団出版局, 1981.8.

総説新約聖書 / 大貫隆・山内真編 - 日本基督教団出版局 2003

新共同訳 新約聖書註解 日本基督教団出版局, 1991

- 誰が書いたのか? (作者) 長老ヨハネ?
(13:23 弟子たちの一人で、イエスの愛しておられた者」、19:26 イエスは、母とそのそばに
いる愛する弟子とを見て、)
- いつ書いたのか? (年代) 紀元90年代?
- どこで書いたのか? (場所) エペソ? シリアーパレスチナの境界線上?
- なんのために書いたのか? (目的)
ヨハネ20:30 - 31, 21:24 - 25 対グノーシス?
- 宗教史的背景? クムラン ユダヤ教ラビ グノーシス 黙示文学 アレキサン
ドリアのフィロン
- ほかの福音書を知っていたか? **異同** 間接的
- 資料 「ロゴス賛歌」(1:1ff)、「しるしの書」? (2:11,4:54,12:37,20:30など)、受難・
復活物語・啓示講話資料?
- 写本のページ順序の問題 4-7章

共観福音書

神殿清めの位置 (Mk 11:15 ff)

エルサレム旅行 (1回 Mk 11:1)

神の国の宣教

たとえ (Gleichnis)

終末論 (未来的)

ヨハネ

Jh 2:13 - 22

(3回 Jh 2:13、5:1、7:10)

イエスの自己啓示 (わたしは・・・)

(二元論) 光と闇

イメージ (Bildwort)

(現在的)

イエスの言葉

神殿 (Mk14:58)

預言者 (Mk6:4)

父と子 (Lk10:22 Mt11:27)

自分の命を愛する (Mk8:35par)

主と僕 (Mt10:24)

受け入れる (Mk10:40 Mk9:37)

飲むべき杯 (Mk14:36 Mt26:42)

罪の赦し (Mt18:18)

(Jh2:19)

(Jh4:44)

(Jh3:35)

(Jh12:25)

(Jh13:16)

(Jh13:20)

(Jh18:11)

(Jh20:23)

注：R.ブルトマンのヨハネ福音書解釈

- 『ヨハネの福音書』 R.ブルトマン著 杉原 助
訳 大貫 隆解説 日本キリスト教団出版局
2005年 (原著 1937-41)
- グノーシス
- 非神話化論
- 実存論的解釈

3 . 解釈の方法

- 文献 : <http://theology.doshisha.ac.jp/nomoto/ronbun/>
- 7. 伝承史的方法の諸問題 (『基督教研究』第37巻 1972年)
 - 文献批判
 - 伝承史
 - 編集史
- 4. 旧約学における文芸学的方法の位置 (『基督教研究』第42巻 1978年)
 - 文芸学
 - キーワード解釈法